

しながわくりつとしょかん しょくいん ほん 品川区立図書館の職員がおすすめの本

しながわくりつとしょかん はたら しょくいん ねんれいべつ ほん えら
品川区立図書館で働く職員が年齢別におすすめの本を選びました！

よ
読んでみたい本はあるかな？

★0・1・2さいむけ

えほん『くだもの ぱくっ』 ひこさか ゆき 彦坂 有紀、もりと いずみ/作 こうだんしゃ 講談社

えほん『たいこ』 ひかつ ともみ 樋勝 朋巳/ぶん・え ふくいんかんしょてん 福音館書店

★3・4さいむけ

えほん『てのひら おんどけい』 はまぐち てついち 濱口 哲一/ぶん すぎた ひろみ 杉田 比呂美/え ふくいんかんしょてん 福音館書店

えほん『たぬきのひみつ』 かとう やす さく ぶんけいどう 加藤 休ミ/作 文溪堂

★5・6さいむけ

えほん『しりとりのだいすきな おうさま』 なかむら しょうこ さく 中村 翔子/作 はた こうしろう/絵 鈴木出版

えほん『こねことおつきさま』 アルベルティーヌ・ドゥルタイユ/作・絵
ふしみ みさを/訳 やく とくましょてん 徳間書店

☆1・2年生向け

えほん 絵本『どうぶつしんちょうそくてい』 き や 聞かせ屋。けいたろう/文 たかぼたけ じゅん 高 阜 純/絵 アリス館

ものがたり 物語『ごごろうくと消えた時間』 林原 たまえ ぶん たかがき まり え 富士房インターナショナル

ちしき 知識『おにぎりをつくる』 たかやま 高山 なおみ/文 ながの よういち しゃしん 陽一/写真 ブロンズ新社

☆3・4年生向け

えほん 絵本『歯いしゃのチュー先生』 せんせい ウィリアム・スタイグ/ぶんとえ うつみ まお/やく ひょうろんしゃ 評論社

ものがたり 物語『ねこと王さま』 ニック・シャラット/作・絵 いちだ いずみ やく とくましょてん 市田 泉/訳 徳間書店

ちしき 知識『そうだったのか！ 給食クイズ100①栄養・献立・食材編』 松丸 奨/監修
フレーベル館

☆ 5・6年生向け

物語『魔法のたいこと金の針』 茂市 久美子／作 こみね ゆら／画 あかね書房

知識『おしえてフクロウのひみつ』 柴田 佳秀／文 マツダ ユカ／絵 子どもの未来社

★中学生向け

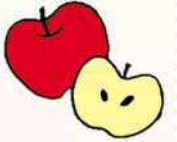
物語『飛ぶための百歩』 ジュゼッペ・フェスタ／作 杉本 あり／訳
まめふく／イラスト 岩崎書店

知識『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』 日本ペンクラブ／編 ポプラ社

0・1・2さいむけ

えほん『くだもの ぱくっ』 ひこさか ゆき 彦坂 有紀、もりと さく いずみ / 作 こうだんしゃ 講談社

みかんを むいて ぱくっ! バナナも むいて ぱくっ!
ぶどうや メロンも おいしそう。りんごは そのまま かじっちゃえ。
さあ、いちごは どうしよう?
みんなの すきな くだもの あったかな?



えほん『たいこ』 ひかつ ともみ 樋勝 朋巳 / ぶん・え ふくいんかんしよてん 福音館書店

トン トン トントン トン トン トントン。
いぬが たいこを たたいていると、おとこのこが やってきて、
「なかまに 入れて」といいました。ふたりで たたいていると、
かえるや ほかのおともだちも やってきます。みんなで たのしく
たたいているところへ、うるさいぞーと やってきたのは



3・4さいむけ

えほん『てのひら おんどけい』 はまぐち てついち 浜口 哲一 / ぶん すぎた ひろみ 杉田 比呂美 / え ふくいんかんしよてん 福音館書店

ぼくとパパ、てをつないで おさんぽにいきます。
パパので、あったかい。
まちのポストや かいだんに さわってみると、あたたかかったり
つめたかったりしたよ。
こうえんについた! すなばのすなは どうかな?
みんなも たしかめてみよう。



えほん『たぬきのひみつ』 かとう やす 加藤 休ミ / 作 さく ぶんけいどう 文溪堂

「だれにも いっちゃんいけないよ。ぼくの おへそってね」
たぬきは そういうと
つぎに できたのは リス。「わたしの しっぽなんて」
あひる、コアラ、ペンギンなど、いろんなどうぶつが じぶんのひみつを
はなしていくよ。どんな ひみつがあるのか、ページをめくって さがしてみ
よう。



5・6さいむけ

えほん 『しりとりのだいすきな おうさま』 なかむら しょうこ さく 中村 翔子 / 作
はた こうしろう え はた こうしろう / 絵
すずき しゅつぱん 鈴木出版

あるおしろに しりとりのだいすきな おうさまがいました。
おうさまは、なんでも しりとりのだいすきなじゅんぱんにしないと きがすみません。
もちろん、ごはんのだいすきなじゅんぱんも しりとりです。そのうえ、
さいごは プリンときまっています。けらいたちは いつも、
こまっています。そこで、けらいたちは こっそり けいかくを たてました。

えほん 『こねことおつきさま』 アルベルティーンヌ・ドゥルタイユ / 作・絵
ふしみ みさを やく とくましょてん 徳間書店

まんげつによる、のらねこは のうじょうに ミルクをのみに でかけます。
へいのうえを とおって、きにとびうつり、やねにジャンプ！
すると、おつきさまが どこまでも ついてきます。
あれ？ぼくのまねを しているの？
のらねこは おつきさまと たのしく おでかけを つづけますが



ねんせいむ
1・2年生向け

絵本 『どうぶつしんちょうそくてい』 聞かせ屋 けいたろう / 文
たかばたけ じゅん え 高島 純 / 絵 アリス館 アリス館

どうぶつえんでは いろんなどうぶつが せのたかさを はかろうと、
じゅんぱんを まっています。いちばんさいしょに やってきたのは
うさぎ。すこしでも たかくみせようと、おみみを ぴんとのぼして
はかりますが。ほかに、カンガルーや キリンなど、たくさんのどうぶつ
が やってきます。

みんな うまくはかることが できるかな？

物語 『ごごろうくと消えた時間』 はやしほら たまえ さく たかがき まり え 林原 玉枝 / 作 高垣 真理 / 絵
ふじぼろ 富士房インターナショナル

「おなやみそうだんじょ」を けいえいしている ごごろうくんのもとに
おう 王さまから「だいじなじかんが なくなったので さがしてほしい」
という いらいが とどきます。ごごろうくんは、じかんが
たくさんあるひとが あやしいとおもい、とけいやさんや カラス、
カメなどを たずねますが

ごごろうくんは ぶじ、じかんどろぼうを みつけることが できるでしょ
うか。



ちしき
知識

『おにぎりをつくる』^{たかやま}高山 ^{なおみ}なおみ／^{ぶん}文 ^{ながの}長野 ^{よういち}陽一／^{しゃしん}写真
ブロンズ新社

おこめを かつぶに 入れて じゅんびします。
てで ざくざく といで、おみずを 入れて スイッチオン。
おとがなったら おいしいごはんの できあがり！
そこから おしおと おみずを よういして、ぎゅっぎゅっ
てをうごかしていくと
このほんを よんで おいしい おにぎりを つくってみよう！



ねんせいむ
3・4年生向け

えほん
絵本

『^は歯いしやの^{せんせい}チュー先生』 ^{ウィリアム・スタイグ}ウィリアム・スタイグ／^{ぶんとえ}ぶんとえ
^{うつみ まお}うつみ まお／^{やく}やく ^{ひょうろんしゃ}評論社

ネズミの^{せんせい}チュー先生は、とてもうでがよい ^は歯いしやさんです。
^{ちいさな}ちいさな からだで、^{くち なか}口の中にはいって やさしくちりょうするので、
^{とくに}とくに、^{おお}大きな^{おお}かんじゃさんに ^{にんき}にんきがあります。
でも、ネズミなので ^{ネコ}ネコや^{きけん}きけんなどうぶつの ^{ちりょう}ちりょうはしません。
しかし、ある日 ^は歯がいたいと ^{キツネ}キツネがやってきて…。

物語

『^{おう}ねこと^{おう}王さま』 ^{ニック・シャラット}ニック・シャラット／^{さく}作・^え絵 ^{いちだ いずみ}市田 泉／^{やく}訳
^{とくまじよてん}徳間書店

あるおしろに、^{おう}王さまがすんでいました。しかし、^{うん}うんがわるいことに、
おしろがもえてしまったので、^{まち}町の^{ちい}小さな^{いえ}家で、^{いちばん}いちばんな^{かよし}かよしの^{ねこと}ねこと、
^{いっしょ}いっしょにくらすことになりました。^{すこ}少しずついろいろなことができるようになった^{おう}王さまは、
^{おとなり}おとなりさんをしょうたいして、パーティーをひらくことに
しました。

そこへ、^{うん}うんがわるいことに、おしろをもやした^{ドラゴン}ドラゴンがやってきて。

ちしき
知識

『^{きゅうしょく}そうだったのか！^{きゅうしょく}給食クイズ100①^{えいよう}栄養・^{こんだて}献立・^{しょくざい}食材編』

^{まつまる すすむ}まつまる すすむ／^{かんしゅう}監修 ^{フレーベル}フレーベル館
みなさんは、^{きゅうしょく}給食が好きですか？^{きゅうしょく}給食は^{ちいき}地域や^{ねんたい}年代によって違いがあります。そして、^{きゅうしょく}給食には^{くふう}たくさんの^{くふう}工夫と^{ちが}ひみつがかくされています。
^{えいよう}どんな^{えいよう}栄養があるの？^{しょくざい}食材はどこから来るの？
^{あたま}頭が良くなる^{メニュー}メニューってなんだろう？
^{くふう}工夫^{いっぱい}いっぱいの^{きゅうしょく}給食をもっと知って、^{きゅうしょく}給食^{はかせ}博士になろう！



5・6年生向け

物語 『魔法のたいこと金の針』 茂市 久美子／作 こみね ゆら／画
あかね書房

町のはずれの仕立て屋さんは、ある冬の日に鬼の子とであいました。
春を知らせるたいこを練習しているときに、穴をあけてしまったのでなおしてほしい、と言ってきます。わたされた金の針を使っていてねいになおすと…。金の針がつむぐ、ふしぎなおはなしです。

知識 『おしえてフクロウのひみつ』 柴田 佳秀／文 マツダ ユカ／絵
子どもの未来社

みなさんはフクロウのことをどれくらい知っていますか？
世界中で夜に活動する鳥は3%しかいません。その数少ない夜に活動する鳥、フクロウは他の鳥と違う体の仕組みがいっぱい！
枝につかまる足の指は前と後ろで2本ずつ、目玉はとても大きくて実は長細い。
この本を読んだら、フクロウに会いたくなっちゃうかも！



中学生向け

物語 『飛ぶための百歩』 ジュゼッペ・フェスタ／作 杉本 あり／訳
まめふく／イラスト 岩崎書店

中学を卒業したばかりのルーチョは2歳の時に目の病気になり、徐々に視力を失ってしまう。甥っ子に閉じこもってほしくないと思ったベアは、ルーチョと2人で山登りをするようになる。
しかし、ルーチョは周りの助けを借りることに抵抗があつて。
盲目の少年が、山登りやそこで出会った人々を通して成長していく物語。

知識 『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』 日本ペンクラブ／編 ポプラ社

「同性を好きになっちゃった」「夢や目標がなくて焦る」
「好きな人に幻滅されたくない」「親に頼らずひとりで生きていきたい」
今を生きる10代が抱えるこれらの悩みに、浅田次郎、きむらゆういち、森絵都ら日本ペンクラブの作家や翻訳家たちが真摯に答えていきます。
みなさんもこの本を読んで、これから生き抜くヒントを見つけていきましょう。

